



World Supersport Championship

round - 9 Italy Misano World Circuit Marco Simoncelli July 8

予選 9 番手 決勝 9 位

スーパースポーツ世界選手権 (WSS) 第 9 戦がイタリアのアドリア界に面したリミニ近郊に位置するミサノ・ワールド・サーキット・マルコ・シモンチェリで開催されました。大久保光は、フリー走行は雨だったこともあり 15 番手だったため、スーパーポール 1 に出走し、2 番手タイムを出して、最終予選のスーパーポール 2 に進出に成功した。自己ベストを更新して 9 番手となりました。

決勝では、スタートダッシュを決め、トップ集団に迫り、オープニングラップを 5 番手で通過しますが、ハイサイドで転倒するライダーの影響を受け、トップ集団を離されてしまいます。大久保は転倒を避け、レース続行、追い上げを見せます。最終ラップに更に自己ベストを更新しますが、9 位でチェッカーを受けました。

大久保光

「予選ではスーパーポール 2 に上がりたかったので、メカニックとファイナルで悩んで、変えたことでタイムも上がり、2 番手でスーパーポール 2 に上がることが出来ました。ここでは、自己ベストをコンマ 4 秒も詰めることが出来て 9 番手になりました。スーパーポール 2 に残ることが、今年の課題でもあったので、それをクリア出来ています。決勝スタートもトップグループに迫る走りが出来ました。転倒に巻き込まれて、トップグループと離れてしまったのが残念ですが、アクシデントを回避して、最後には、更にタイムを短縮して 9 位でチェッカーを受けることが出来ました。今回のレースで、フルタンクの時は、思うような走りが出来ず、後半には、タイヤのライフがきつくなってもタイムアップ出来るということが分かりました。序盤のペースアップやコントロールは、とても大事なので、ここでペースを上げるという課題が明確になりました。後半戦は、その課題に取り組み、トップ争いをしたいと考えています」

大久保はレース後、7 月 29 日決勝の鈴鹿 8 時間耐久の事前テストに参加しました。高橋英倫監督率いる「アーミーガール。チーム MF&カワサキ」から、アメリカ人のアンドリュー・リーと全日本ロードレース選手権 ST600 クラスに参戦している奥田教介と参戦します。今回のテストにはリーは不参加でしたが、奥田選手とテストに取り組み準備を進めました。

大久保は「鈴鹿 8 耐で 1000 cc という重たいバイクに乗り、そのコントロールを学ぶことは、WSS にもつながるはず。8 耐で良い結果を残すことに取り組みながら、成長したい」と語りました。「アーミーガール。チーム MF&カワサキ」は、SST クラス優勝を目指しています。

※次回は、ポルトガルのレポートをお送り致します。



株式会社 隆誠社

